

地域子ども・子育て活動支援助成事業 実施報告書（別紙2）

団体名	NPO 法人レインボースクールかわさき
取組の名称	赤ちゃんから高校生までの子どもや子育て世代を対象にした居場所やコミュニティづくりを実施
実施場所	川崎区内（教会、カフェなど）
対象地域	川崎区または区外在住
対象地域の特色・課題	不登校支援や子育て支援などのための居場所づくりを3年間取り組んできたことで、不登校児童がまだまだ増加傾向にあること、また精神疾患やその影響で貧困や食に苦しむ家庭が増えていることなどの現状が見えてきた。現在、川崎区内では居場所が増えてきているので、地域全体で協力してこの課題に取り組めるようにするにはどうしたらよいかを考えていくことが課題である。
取組の趣旨・目的	引き続き、私たちの団体は支援が未だ行き届いていない繊細やグレーゾーンと言われる子ども達の不登校支援や居場所づくり、未就学児のいる子育て世代の支援のための居場所づくりを行なっていく。また川崎区で居場所をやっている人たちや地域の人たちと連携をとり、イベントなどを開催して地域全体でコミュニティづくりに取り組み、子どもたちが安心して過ごせる街づくりを行なっていく。
実施内容・実施スケジュール	<p>フリースクール「にじのはし」</p> <p>実施内容 主に繊細やグレーゾーンといわれる子どもたちのフリースクールやの居場所づくりを開催した</p> <p>実施スケジュール：週2、3回 参加人数：述べ363名</p> <p>自由学習、季節のイベント行事、遠足、千葉のフリースクールに参加（月1回）などを開催した</p>

参加者の年代	小中高校生	定員（1回あたり）	6～8名
実施頻度	週2、3回	活動日数（年間）	99日
スタッフ体制	ボランティアスタッフ2、3名		
連携する団体・ 連携の手法	<p>スクールソーシャルワーカー、川崎市の教育委員会、学校、川崎市不登校・引きこもり親の会ネットワークと連携した</p> <p>連携の手法： 必要に応じて対面またはZoom会議を開催した</p> <p>学校へのフリースクール出欠席を書面で報告した</p> <p>区のスクールソーシャルワーカーと情報共有やイベントなどでチラシを配布した</p> <p>近隣の郵便局や店舗などにチラシを掲示の依頼した</p>		
取組実施により 見込まれる効果	<p>活動日数が増えることで子ども達の精神的な安定や学ぶ意欲が向上した</p> <p>同じような悩みを抱えた子ども同士、保護者同士で支え合い助け合うことができた</p> <p>行政機関と連携することで早期に必要なサポートを繋ぐことができた。</p>		

<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>②親子の居場所「レインボールーム」</p> <p>赤ちゃん向けのおもちゃスペースなどの設置や、また「お母さんが癒される」を目的としたイベントを開催、子育て相談が気軽にできるための居場所づくりの実施した</p> <p>タッチセラピーや絵本の読み聞かせ、親子イングリッシュ、子育てについての講座などを開催したり、地域の子育て中のお母さんによるイベントなども不定期で開催した</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>未就学の子どもとその保護者</p>	<p>定員（1回あたり）</p>	<p>6名（京町） 15名（大師）</p>
<p>実施頻度</p>	<p>月2回</p>	<p>活動日数（年間）</p>	<p>21日</p>
<p>スタッフ体制</p>	<p>保育士ボランティア2名 地域ボランティア1名</p>		
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>川崎区の保健師と連携をとり必要があれば連絡を取り合った</p>		
<p>取組実施により 見込まれる効果</p>	<p>地域で協力して安全で安心できる居場所を開催することで、地域の人たちに見守られながら孤立せずに、子どもたちや子育て世代が、健やかに成長または子育てをすることができた</p> <p>同じような悩みを抱えた子ども同士、保護者同士で支え合い助け合うことができた</p> <p>行政機関と連携することで、早期に必要なサポートを繋ぐことができた</p>		

<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>③子ども食堂プロジェクト「にじかふえ」</p> <p>実施内容；</p> <p>① おにぎりを自分で握って食べよう！をテーマに子ども達と子ども食堂を実施した。1月からはにじかふえは親子交流会として、レインボースクールの子供達と保護者の交流会に変更して継続中。</p> <p>② 食をテーマにしたイベントの開催をした レインボーフェスカワさき 2025年 11月 16日@大師公園</p> <p>③ にじかふえとは別に、2025年 9月から京町でキメキメこども食堂をスタートした。地域のボランティアやレインボースクールの子供達や保護者と一緒に開催しています。</p> <p>実施スケジュール 毎月 第2土曜日 4/12,5/10,6/14,7/12,8/16,9/13,10/11,11/8,12/13,1/10,2/14,3/14 参加人数：述べ 136名 変更事項→1月から大師の教会での開催に変更した</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>全世代</p>	<p>定員（1回あたり）</p>	<p>15名</p>
<p>実施頻度</p>	<p>第2土曜日</p>	<p>活動日数（年間）</p>	<p>12日</p>
<p>スタッフ体制</p>	<p>地域ボランティア3名 保護者ボランティア3名</p>		
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>Twentysecond カフェと地域の人と一緒に開催した。</p>		

<p>取組実施により 見込まれる効果</p>	<p>不登校や支援級の子供達とその保護者たちと一緒に運営・開催をすることで交流を深めることができた。</p> <p>同じような悩みを抱えた子ども同士、保護者同士で支え合い助け合うことができた。</p> <p>子ども達と子ども食堂を企画・運営をすることで、子ども達が福祉活動の大切さについて体験することができる。また川崎区の行政と連携することで必要な人に食事を提供することができた。</p>		
<p>実施内容・実施スケジュール</p>	<p>④ 親の会「レインボーママカフェ」</p> <p>不登校や子育てのこと、支援級のことなど保護者が悩みを気軽に話せる居場所づくりを実施した。教育委員会と不登校親の会ネットワークとの合同イベントにスタッフとして参加した。</p> <p>実施スケジュール 毎週月曜日（第5月曜日、祝日はお休み） 参加人数：述べ8名</p>		
<p>参加者の年代</p>	<p>保護者</p>	<p>定員（1回あたり）</p>	<p>5名</p>
<p>実施頻度</p>	<p>毎週月曜日</p>	<p>活動日数（年間）</p>	<p>36日</p>
<p>スタッフ体制</p>	<p>地域ボランティア3名</p>		
<p>連携する団体・ 連携の手法</p>	<p>不登校支援 スクールソーシャルワーカー、川崎市の教育委員会、川崎市不登校・引きこもり親の会ネットワークと連携をとった。</p> <p>手法：イベントの参加、対面、Zoom 会議などを開催した</p>		

<p>取組実施により 見込まれる効果</p>	<p>取り組み実施により見込まれる効果：</p> <p>地域で協力して安全で安心できる居場所を開催することで、地域の人たちに見守られながら孤立せずに、子どもたちや子育て世代が、健やかに成長または子育てをすることができる。</p> <p>同じような悩みを抱えた子ども同士、保護者同士で支え合い助け合うことができる。</p> <p>行政機関と連携することで、早期に必要なサポートを繋ぐことができる。</p> <p>当団体のように居場所づくりの活動をしている団体と協力することで地域全体の問題として課題に取り組むことができる。</p>
----------------------------	--